

中等習字帖

卷上



K220.72

24

1

凡例

- 一本書は中等教科の學校に於ける習字科の教科書に充てむが為に編纂したるものなり。
- 一本書は上中下の三冊を以て完結し上中には楷書行書體を下には行書草書を收めたり。
- 一本書はその材料を現今中等教科の學校にてあまねく行はるる國語讀本漢文讀本の上に取れりて以てその讀書科との聯絡を保たむことをはかりたり。
- 一本書は學生をして字体運筆の要を悟らしめて書法に習熟せしめむことをつとめたると共にまたこの書によりて格言詩歌の趣を味はしめかほまた日常須知の文字と事項とに曉通せしめむことを期したり。
- 一草体の文字には傍に楷書を添へて對照するに便ならしめたり。
- 一各冊の紙數を四十頁づつとし隔週に一回清書をなせしめ以て學年間に一冊を終らしめむことを期したり。

文藝社 弘藏編

中等習字帖 卷上

愛石 王木本三郎書

松杉。苗草。問聞。

遠近。圓團。吠咬。

梅花開黃鳥啼。

遊公園觀櫻花。

天高久地低シ。

上
三

火燃工水流ル。

義ハ泰山ヨリモ重ク
命ハ鴻毛ヨリモ輕シ。

人ニヨリテ事ヲ成サム
コトヲ欲スル者ハ危シ。

王。主。上。下。象。豪。

上
五

成。成。孝。季。規。矩。

玉不琢不成器。

上六

人不學不知道。

修身、國語、漢文、數學、地理、歷史、
物理、化學、博物、圖畫、音樂、體操

上七

筆墨、硯、帳簿、書籍、本箱、机、腰掛、
唐紙、障子、床、花瓶、懸物、煙草盆

つらつら、世人の生涯を觀るに、福運
の常に勤勉なる人の側に傍ふこと、

恰も、順風穩波の航海に巧なるもの
に隨ふが如し。
中村正直

恩怨池沼旌旗。

上九

徘徊霜雪足跡。

國以簡賢為務。

上十一

賢以孝行為首。

露もつ草葉を鞋に踏めば、袖吹く風は汗
をぞ拭ふ。旅路の愉快は野路ゆく朝追風

に帆かけてとまりを追(ば)わがたぬ波
は歌をぞ歌ふ。旅路の愉快は海ゆく夕。

談話。頭顏。筆管。

上十三

寄宿。功勳。怡悅。

言語は簡明なるべし。

噪妄なるべからず。

學生は勤勉なるべし。

上十五

懶惰なるべからず。

缺席屆

第一學年生徒

武田 猛

右ノ者病氣ニ付キ本日ヨリ五日間缺席致サセタ

上十六

別紙醫師ノ診斷書相添(御届申上候

右保證人

東京市神田區錦町三丁目

竹中真一

明治四十年五月二十六日

何中學校長金井仁殿

人常咬得菜根。

上七

則百事可做。

恥惡衣惡食者。

上六

未足與議也。

千歳の後に生れて、千歳以前の聖賢
に相見ゆることを得るは、讀書の得

なり。學問の道の大いなること、天と
海との外には、譬言ぶべきものなし。

義を見てやせむるは

十一

勇なきなり。

02297

明治三十九年十月上浣

愛石玉木享書



十三

明治三十九年十一月一日印刷
明治三十九年十一月五日發行
明治四十年一月一日訂正再版印刷
明治四十年一月五日訂正再版發行

定價各金貳拾錢

編纂者 内海 弘藏
揮毫者 玉木 本三郎

發行兼印刷者 東京市日本橋區本石町三丁目 大葉久吉
發行者 大阪市東區備後町四丁目 吉岡平助

發行所

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區備後町四丁目

寶文館

